

いちのへ オレンジ月間 2025



9/1_月~30_火 プログラム

イベントに
参加して
いちのへ
オレンジ月間
2025グッズ
をGETしよう



オレンジカフェ さくらの会

参加費100円



9/10_水

14:00 ▶ 16:00

県立一戸病院内
LET'S GO ここプロカフェ

一戸病院認知症疾患医療センターの紹介と見学、
医療専門スタッフによる脳トレ体験を行います!!

LET'S GO
ここプロカフェ

LET'S GO
ここプロカフェの
飲み物、おやつ付き



9/13_土

10:00 ▶ 12:00

一戸町コミュニティセンター

「東北音楽療法推進プロジェクトえころん」による音楽療法を行います。懐かしい
歌、楽しい曲をみんなで奏でましょう!!

東北音楽療法推進プロジェクトえころん代表 智田邦徳氏



認知症に関する企画展示

入場無料

グッズの配布
はありません

9/1_月~30_火

平日/10:00 ▶ 19:00
土日祝/ 9:00 ▶ 18:00
休館日/月曜日・祝日の翌日



一戸町立図書館内
認知症や介護、福祉にまつわるおすすめ書籍の
展示、貸出を行います。裏面の「いちのへオレンジ
月間2025おすすめ図書」をご参照ください。



9/8_月~12_金 9:00 ▶ 17:00



岩手県立一戸病院1階
一戸病院を利用されている方々による
作品展示です。



9/1_月~30_火 9:00 ▶ 18:00

土曜日12:00閉店/日祝店休



アイン薬局一戸店内
アイン薬局の認知症に関する取り組みや
お薬に関する情報を展示します。



DVD上映

参加無料

9/6_土 14:00 ▶ 15:30

一戸町コミュニティセンターホール

上映時間
98分

リーヴルシネマ『ばあばは、だいじょうぶ』

大好きなばあばと暮らす孫の翼(つばさ)。ばあばはある時から
約束を忘れたり怒りっぽくなったりいつもとちょっと違
う。それは「忘れてしまう病気」になったから。ある日、ばあば
が家から突然いなくなってしまった。「忘れる病気」に
なっても大丈夫! ばあばと家族の感動の物語。

申込不要



9/19_金 13:30 ▶ 15:30

一戸町ボランティア活動拠点いちボラ+(プラス) 旧一戸幼稚園

『ペコロスの母に会いに行く』

上映時間
113分

離婚して子連れで故郷の長崎に戻った主人公ゆう
いちと、85歳になりグループホームで暮らす認知
症の母みつえの心温まる日常を描く。ゆういち役で
岩松了が主演、母みつえ役に赤木春恵。
©2013「ペコロスの母に会いに行く」製作委員会



定員30名 要申込

申込は
こちらから



TEL 0195-33-3385



いちのへ オレンジ月間 2025 おすすめ図書



認知症に関する最新情報や、認知症のある人とその家族への正しい理解を進める
おすすめ図書を厳選しました。読んで、知って、認知症について考えてみませんか？
認知症への正しい理解を深める第一歩として、ぜひお手にとってご覧ください。

2025
9/1月～
9/30火



認知症を知る・ケアに役立つ本



10代から
知っておきたい
認知症の世界
共生社会を考えよう

宮崎 雄生／監修
旬報社刊

高齢者がかかりやすい病気「認知症」。2040年には約7人に1人が認知症になると予想されている。認知症とはどのような病気なのか、いくつかある認知症のうち主な4種類を解説し、どのような症状が現れるのかを説明。「認知症かも？」と思った時の医療機関への相談や病院での検査についても紹介。さらに認知症の人にまつわる10のストーリーで自分だったらどうするかを考え、認知症への理解が深まる一冊。(小学校高学年から)

「認知症の人」への接し方のきほん
あなたの家族に最適な方法が見つかる！
「場面別」かわり方のポイント

矢吹 知之／著 翔泳社刊

認知症介護に携わる家族に向けた、介護の心得や向き合い方、かわり方のポイントを紹介。認知症の方も介護する家族も自分らしく生きるためのヒントが詰まった一冊。

心と体を癒す
ハンドケア&マッサージ

池田 明子／著 スール刊

ハンドケアには疲れを癒すだけではなく、脳が活性化し認知症の進行を予防する効果が報告されている。本書では簡単に実践できるハンドケアの技術を紹介する。

認知症当事者による著書・取材記録



認知症の私が、
今を楽しむ
生きる理由

丹野 智文／著
中央法規出版刊

39歳の時認知症と診断された著者。不安と恐怖で泣いてばかりいた時期に笑顔で元気な認知症当事者との出会いが支えになったと語る。ピアサポーターとして認知症当事者同士をつなげる役割を担い、「認知症になったから何もできない」のではなく、「認知症になっても今までの生活を続ける」ための具体的な方法やアドバイスを当事者目線で伝える。紙上体験としてピアサポートの場面も綴る「諦めない」ためのヒント集。

「できる」と「できない」の間の人
脳は時間をさかのぼる

樋口 直美／著 晶文社刊

50歳でレビー小体型認知症と診断された著者。病気を抱えながら過ごすコロナ禍の日々や認知症についてなどを綴る。どんなことがあっても「あなたは、大切な人だ」と勇気づけてくれるエッセイ集。

ルポ希望の人びと
ここまできた認知症の当事者発信

生井 久美子／著 朝日新聞出版刊

2014年、認知症の本人たちによる当事者団体が誕生した。「認知症になると何もわからなくなる」という偏見の壁を打ち砕こうと当事者たちが立ち上がった。当事者発信の軌跡を綴る。

子ども向け・物語



おばあちゃんの
あかね色

楠 章子／作
あらい／絵
佼成出版社刊

認知症のおばあちゃんと一緒に住むことになった杏。認知症のせいで、何度も同じことを聞いたり場所がわからなくなったりしてしまったり…。いつものおばあちゃんとはちがう姿に杏は悲しくなっていました。デイサービスに通うようになったおばあちゃんの洋服は黒や灰色ばかり。二人ともおしゃべりが大好きだったのに…。おしゃべりが大好きなおばあちゃんのために杏が思いついた、とっておきのアイデアとは？(小学校中学年から)

エツコさん

屋田 弥子／作 光用 千春／絵
アリス館刊

みんなからエツコ先生と呼ばれているおばあちゃんは認知症。おかあさんからは助けるようにと言われたけど…。ある日友達の家に行く途中で迷子になってしまった樹(たつき)。そこに現れたのは…。認知症を知るための6つの物語。(小学校中学年から)

絵本 こどもに伝える認知症シリーズ3
一本の線をひくと

藤川 幸之助／さく 寺田 智恵／え
クリエイツかもがわ刊

認知症だった友達のおばあちゃんを「怪物」と言ってしまった。でも、ある出来事がきっかけでおばあちゃんの気持ちが分かった気がした。著者の実体験をもとに誕生した物語。(5歳から)

いちのへ
オレンジ月間

2025

KAiGO
PRIDE



いちのへ
チームオレンジ
さくらの会



一戸町

共生社会
を
目指した

LiNK WALK

リンク
ウォーク

一人だと歩けないけど、二人なら歩ける

2025

9/23

火祝

11:00
▽
14:00

参加費
無料

事前申込
不要

御所野縄文公園

〒028-5316 岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野 2 番地



一戸駅から御所野縄文公園までは、縄文タクシーをご利用ください。
運賃の一部を助成します。タクシーの領収書を博物館内の受付にお渡しください。

オープニングセレモニー 11:00-11:20

一戸町立一戸中学校吹奏楽部

リンクウォーク 11:20-12:00

介護・福祉職と高齢者、障がい者、
子どもなどによるファッションウォーク

レッドカーペットの
上を音楽に合わせて
お気に入りの
ファッションで
歩いてみませんか？

参加申込は
こちらから

● 衣装貸出可能！
● ヘアメイク無料！
● 介助者と一緒に参加も可能！

定員
30名

トークセッション 13:00-13:40



介護の新しい力、
誰もが自分らしく安心して暮らせる社会へ

パネリスト 一般社団法人KAiGO PRIDE理事 小口 貴幸 氏
進行 柏葉 英美 氏【八戸学院大学短期大学部学長特別補佐教授】

エンディングセレモニー 13:40-14:00

根反鹿踊り

- 記念写真撮影ブース
- 現役介護職を撮影したポートレート写真展
- 介護職への応援メッセージコーナー
- カフェブース

主 催 いちのへチームオレンジさくらの会、一戸町
共 催 一般社団法人 KAiGO PRIDE、岩手県介護福祉士会盛岡広域支部、
社会福祉法人一戸町社会福祉協議会
後 援 岩手県、岩手県介護福祉士会、八戸学院大学短期大学部
協 力 一戸町介護職員等確保対策協議会、岩手県立一戸病院
衣装提供 株式会社一戸ファッションセンター、株式会社ボトラガーデン 他



@KAiGO PRIDE



@御所野縄文公園



@KAiGO PRIDE



主催・
お問合わせ

一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 岩手県二戸郡一戸町一戸字砂森93-2
電話：0195-33-3385 FAX：0195-33-2737

共 催

一戸町地域包括支援センター

いちのへチームオレンジさくらの会（オレンジカフェさくらの会、アイン薬局一戸店、一戸町立図書館）